

| 校種<br>(学級種別)             | 小学校<br>(自閉症・情緒障がい特別支援学級)   | 本事例の<br>教科等名   | 自立活動   |
|--------------------------|--|--|--|
| 在籍児童の<br>実態              | <p>○5年生1人、4年生2人</p> <p>・A児(4年生男児)・・・勉強への拒否感が強い。順番のある活動で自分の番まで待ったり、相手の話を最後まで聞いたりすることが難しい。</p> <p>・B児(4年生男児)・・・自分の思いを相手に伝えることに苦手意識があり、言葉に詰まってしまうことがある。</p> <p>・C児(5年生男児)・・・語彙が少なく、普段のコミュニケーションでは問題ないが、かしこまった場になると言葉に詰まってしまう。</p> <p>○授業の残り時間には基本的に各々好きな過ごし方をしているが、3人で一緒に遊ぶ時間も互いに楽しみにしている。学年関係なく対等な関係でかわることができており、C児がリーダーシップをとってくれることも多い。</p>   | <p>目標</p> <p>・</p> <p>指導内容</p>   | <p>①どのように伝えれば自分の考えが相手に伝わりやすいかを考えて話す。</p> <p>②相手の話を最後まで聞く。</p> <p>(コミュニケーション・人間関係の形成)</p> |
| 指導の経過・<br>工夫点・子ども<br>の変容 | <p>【めあて】 ①相手に伝わるように説明しよう。<br/>②相手の話を最後まで聞こう。</p>   |  |  |
|                          | <p>【あおぞらタイムの流れ】</p> <p>(1)めあての確認・自分のめあての発表</p> <p>(2)ルールの確認</p> <p>(3)楽しくあそぼう</p> <p>(4)ふりかえり</p>  | <p>教材名:まちがいさがし</p> <p>出典:幼児・小学生・中学生の無料学習プリント<br/>サイト 学習プリント.com</p> <p>URL:<a href="https://xn--fdk3a7ctb5l92box5b.com/">https://xn--fdk3a7ctb5l92box5b.com/</a></p> |  |
|                          | <p>【協力まちがい探しのルール】</p> <p>○まちがい探しを半分に分けて二人で一枚ずつもち、自分が持っている絵の特徴を相手に伝える。互いの説明を聞き合い、協力して間違いを探す。</p> <p>【指導の経過】</p> <p>○全体のめあてについて「相手に伝わるように説明」するには、どんなことに気を付ければよいかを話し合うようにした。</p> <p>・ゆっくりと話す ・声の大きさに気を付ける</p> <p>・「何がどうした(どんなだ)」をきちんと話す</p> <p>○自分のめあてを決めてシートに書き、一人ずつ発表するようにした。</p> <p>○難易度の低いものから始め、ルールを共通理解させるとともに、自信をつけるようにした。</p> <p>○活動を振り返るようにして、どんな説明をすると分かりやすかったか共通理解するようにした。</p> |  |  |

【子どもの変容】

- A 児・・・間違いを見つけるために、話を最後まで集中して聞こうとしたり、「もう1回教えて!」と聞き返したりしていた。
- B 児・・・どう言えば相手がすぐに理解できるかと言葉を吟味して伝えていた。
- C 児・・・はじめは短文で伝えていたが、だんだんと上下左右などの位置関係や、ものの形を細かく説明するようになった。

**あおぞらタイムの約束**

① ルールを守って楽しくする。

② 「ありがとう」「ごめんね」をきちんと伝える。

③ ふり返りをきちんとする。

←あおぞらタイムの約束

自分のめあてを自力で考えるのが難しい子どもは、この中から選んで書くようにしている。

↓ふりかえりカード

**あおぞらタイム ふり返りカード**

( )月( )日( )曜日 名前( )

①今日のめあて

②ふり返り

○ルールを守って楽しくする ... ☆ ☆ ☆

○「ありがとう」「ごめんね」を伝える ... ☆ ☆ ☆

③にのこったこと

**あおぞらタイム ふり返りカード**

( )月( )日( )曜日 名前( )

①今日のめあて

②ふり返り

○ルールを守って楽しくする ... /100点

○「ありがとう」「ごめんね」を伝える ... /100点

③にのこったこと

成果と課題・  
今後の方向性

- 遊びを中心にした活動にすることで、A 児が抵抗なく参加することができた。
  - 〈自分の説明が伝わった＝間違いが見つかった（成功）〉なので、自分の考えが伝わった喜びを相手と共有しながら活動することができた。
  - △3 人とも、めあてを考えるのが面倒で「ルールを守る」しか書かないことが多い。
  - △普段から遊びを中心に活動しているが、力をつけることができているかが分からない。
- 【今後の方向性】
- ・A 児が参加しやすいように、今後も 3 人で活動を楽しみながら目標を達成していけるようにしていきたい。
  - ・めあての設定のしかた・振り返りのしかたを見直したい。